

DX人材を育成する リカレント教育プログラム

2026

DX

DIGITAL TRANSFORMATION



中部DX推進人材育成
プラットフォーム

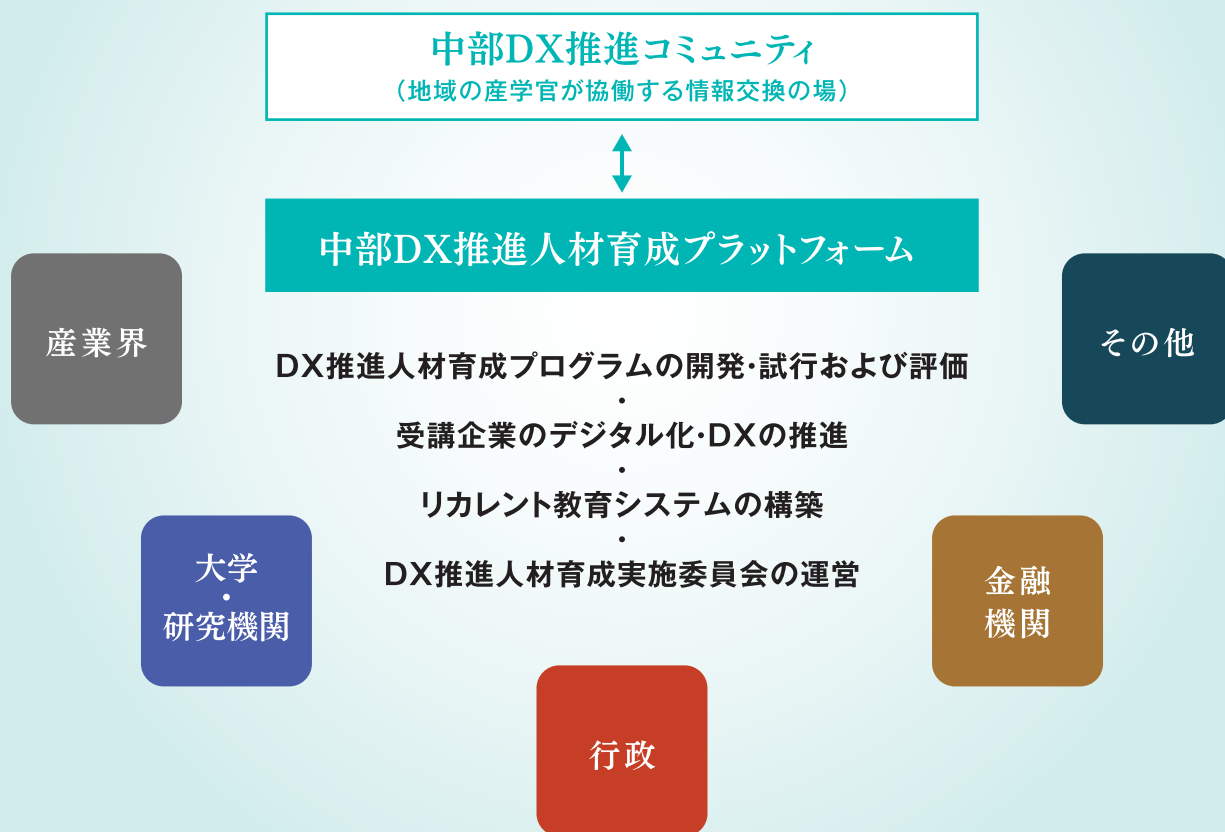


国立大学法人

名古屋工業大学

中部DX推進 人材育成プラットフォームの構成

令和6年度、文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択されたことを受け、
「中部DX推進人材育成プラットフォーム」を設立いたしました。
本プラットフォームでは、地域社会や産業界と連携し、
経営者を含む幅広い人材ニーズに応える教育プログラムを展開します。
次世代を担うDX人材の育成を通じて、地域産業の発展と持続的な成長に貢献してまいります。



企業のDX推進に、名古屋工業大学が伴走し、
実効性の高い支援を行います

プラットフォームの特徴

地域企業のデジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに推進するため、地域の産学官金が協働して活動

産学連携体制の講師陣の実践的な教育プログラムに加えて、地域支援機関による伴走支援を行い、地域企業のデジタル化・DX推進をサポート



中部DX推進人材育成プラットフォームメンバー

産業界

中部経済連合会
名古屋商工会議所

- ・企業ニーズの提供
- ・産業界への周知
- ・マッチング支援
- ・プログラムの助言

大学・研究機関

名古屋工業大学
名古屋大学
名古屋市立大学
産業技術総合研究所中部センター

- ・教育プログラムの企画
- ・受講企業と学生との協働機会の提供
- ・産学連携の対応
- ・技術相談の対応

行政

中部経済産業局、東海総合通信局、中部地方整備局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、あいち産業振興機構、ソフトピアジャパン、三重県産業支援センター、中小企業基盤整備機構中部本部

- ・地域課題の提供
- ・DX支援制度の情報提供
- ・DX支援人材の提供

金融機関

あいち銀行、西尾信用金庫、名古屋銀行、十六銀行、大垣共立銀行、岡崎信用金庫

- ・企業との連携支援
- ・マッチング支援

【リカレント教育プログラム】

本事業では、先進的な事例を紹介するセミナーをはじめ、デジタル化・DX推進を担う人材を育成するための教育プログラムを展開します。教育プログラムは「ベーシック」と「キャップストーン」の2種類を用意しており、ニーズに応じて最適な内容を提供します。

セミナー

- 地元企業のデジタル化取り組み事例紹介
 - デジタルツールを提案するスタートアップ紹介
- 事例からDX推進のイメージを掴む。



ベーシックプログラム

- AI・IoT・ロボット・サイバーセキュリティなど幅広い分野を網羅
- DX推進に必要な知識とスキルを体系的に学修
- 企業のデジタル化に必要な講座を選んで受講

デジタル
バッジの
発行

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 現場担当者向け | デジタル技術活用の基礎を修得し、すぐに実践できる。 |
| 経営者向け | デジタル技術導入の可否を判断でき、要望を的確に伝えられる。 |

キャップストーンプログラム

- 教員指導のもと学生と企業が協力して企業の課題解決に取り組む
- 自社のDXを推進できる実践的な能力を修得

ITベンダーだけに頼らずに自社でデジタル化に取り組める。

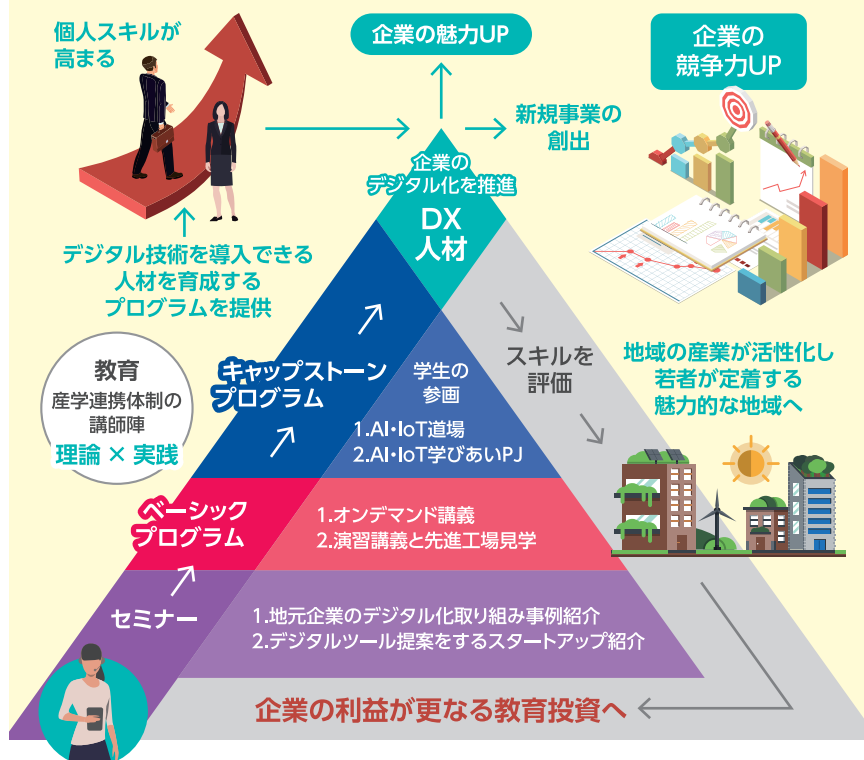


【相談窓口の設置】

中部DX推進人材育成プラットフォーム内に相談窓口を設置し、協働機関やITコンサルタントと連携して伴走型の支援を行います。

事業概要図

中部DX推進人材育成プラットフォームの役割(教育)



ベーシックプログラム

デジタル技術の基礎力を身に付けて DX推進のキーパーソンを育成する

ベーシックプログラムは、企業が必要な講座を選んで受講できる教育プログラムです。

受講者は自社の課題解決に役立つ知識と技術を習得し、社内外をつなぐブリッジ人材として連携をリードします。

実践的な学びを通じて、企業のDX推進を力強く前進させます。



申込方法



お申込はこちらから

◀ <https://forms.cloud.microsoft/r/xQrae3xK7M>

上記URLまたはそれぞれのQRコードよりFormにてお申し込みください。

経営者向けAI実務講座

講師



RSfact株式会社 代表取締役

鈴木 涼平



愛知大学 経営学部 教授
(元 名古屋市立大学 高等教育院 教授)

鵜飼 宏成

目的

生成AIを実務的に取り入れる際の考え方を学び、何を始めたら良いのか、経営にどう生かせばよいのか等の課題を解決する。

受講対象者

日常的にChatGPTなどの生成AIツールは利用しているが、それ以上の活用ができていない経営者

講座概要

顧客、ITベンダー双方が共通のゴールを目指すためにすべきこと、プロジェクトがうまく進むためのITベンダーとの付き合い方を学ぶとともに、プロジェクト実践のための生成AI活用方法についても学ぶ。また、経営者がAIを経営の武器に変えるための思考法を解説する。

修得スキル

- ① 自社とITベンダーの役割分担を理解し、期待値を適切に設定できる
- ② 生成AIプロジェクトのパターンを理解する
- ③ 自社で推進すべきプロジェクトの全体像を描ける

■実施方法 対面／オンライン／オンデマンド併用(対面:平日昼間 3時間×1回)全4回

受講料:5万円/人

AI活用による最適化講座

講師



名古屋工業大学 情報工学類
知能情報プログラム 教授/
NiTech AI研究センター長

加藤 昇平



名古屋工業大学 情報工学類
知能情報プログラム 助教

佐久間 拓人



株式会社サイバーエージェント/
NiTech AI研究センター
客員助教

伊原 滉也

目的

機械学習ならびに最適化に関するAI活用の基礎理論から応用事例について学び、自身で課題解決できる力を身に付ける。

受講対象者

- 企業で業務効率化や計画立案に関わる管理者・実務担当者
 - データ活用やDXに取り組みたいが、最適化の基礎を体系的に学んだことがない方
 - 機械学習と組み合わせた最新の最適化応用に関心のある方
- ※ 講座ではGoogle colabを用いた演習をします。Googleアカウントが必要です。
※ Pythonを用いたプログラミングを実施します。事前にプログラミングの初心者レベルを習得された上で受講いただくことをお勧めします。

講座概要

AIプログラミングの基礎、深層学習、最適化の基礎理論と計算技術を解説し、これらのAI技術を活用した問題解決の具体事例の要点について解説する。基本的なアルゴリズムと解法の選択活用事例を紹介し、例題演習などを通じて、類似課題を自身で解決できる力を修得する。

修得スキル

- ① 最適化の基本的な考え方と代表的手法を理解でき、課題に応じた手法選択ができる
- ② Pythonを用いた基礎的な最適化プログラミングができる
- ③ 機械学習と組み合わせた応用の可能性を理解できる

■実施方法 対面／オンライン／オンデマンド併用(対面:平日昼間 3時間2回)全9回

受講料:5万円/人

生成AI業務活用実践講座

講師



株式会社RuntimeStudio
代表取締役

菅野 倅生

目的

非エンジニアが生成AIを業務で実践的に活用できるスキルを習得し、自社のDX推進の第一歩を踏み出すこと。

受講対象者

製造業を中心とした中小企業の管理職・DX推進担当者・経営層候補(非エンジニア)
※講座では生成AIを使って実習を行うため、WiFi環境に接続可能なパソコンを持参してください。

講座概要

生成AI(Gemini等)とGoogle Workspaceを業務で活用する方法を、オンデマンド動画と対面演習を組み合わせる実践的に学ぶ。対面ではプロンプト設計やGem(GoogleのカスタムAI作成ツール)構築のハンズオン演習を行う。

修得スキル

- ① 生成AIのプロンプト設計スキルを習得し、部署別の活用ができる
- ② Google WorkspaceとAI(Gemini等)を連携した業務効率化ができる
- ③ 業務自動化の基礎を習得し自社のAI導入計画を策定できる

■実施方法 対面／オンデマンド併用(対面は平日昼間 3時間×2回)全5回

受講料:5万円/人

はじめてのAIエージェント活用講座

講師



一般社団法人
中小企業DX推進機構 代表理事

東 庸行

目的

各種情報(会議、商談、日報、プロジェクト)、知識、スキルなどをデータベースに蓄積して管理し、AIエージェントを活用して業務自動化の設計イメージを持つ。

受講対象者

営業、企画、マーケティング、研究、開発、管理部門などのいわゆるホワイトカラー職(非エンジニア)で将来的にAIによる業務自動化を実現したい方
※講座ではNotionを使って実習を行うため、WiFi環境に接続可能なパソコンを持参してください。
※Notionのアカウントを準備できない受講者には大学側で環境を提供しますが費用がかかります。

講座概要

クラウド型の情報管理ツール「Notion」の基本操作からスタートし、業務データの構造化・蓄積を経て、最終日にはAIエージェントの構築・マルチエージェントの考え方まで到達する。座学とハンズオン演習を交互に組み合わせ、3日間で「データ蓄積→AI活用→エージェント自動化」の一連のサイクルを実践的に体験する。

修得スキル

- ① クラウド型の情報管理ツールの基本操作とデータベース設計スキルの習得
- ② Notion AIを活用した文章作成・業務効率化の習得
- ③ AIエージェントを構築し業務に活用するスキルの習得
- ④ マルチエージェントによる業務自動化の基本理解

■実施方法 対面(平日昼間 3時間×3回)

受講料:5万円/人

業務効率化・価値創造講座

講師



名古屋工業大学
創造工学教育推進センター
特任教授

藤原 慎太郎

目的

業務効率化の考え方と方法および生成AIも活用した価値創造の考え方を修得し、新規性・事業性のある提案ができる人材を育成する。

受講対象者

企業の経営者、管理職、中堅社員(特にDX推進担当者、新規事業企画担当者)
※講座では生成AIを使って価値創造の実習を行うため、Wi-Fi環境に接続可能なパソコンを持参してください。

講座概要

TPS(トヨタ生産方式)の考え方と最新のデジタル技術を活用した業務効率化(改善・改革)の考え方、目的別の進め方、実施計画の作り方等を学ぶ。
価値創造(新規事業提案)の手順と分類、アイデア発想の考え方と方法について、生成AIも活用しながら実践的に学ぶ。

修得スキル

- ① 業務の効率化の考え方と方法を理解し、効率化のアイデアを発案できる
- ② 価値創造の考え方と方法を理解し、新規事業のアイデアを発案できる

■実施方法 対面／オンライン併用(対面:平日昼間 3時間×2回)全4回

受講料:5万円/人

材料インフォマティクス講座

■講師



名古屋工業大学
生命・応用化学類
環境セラミックスプログラム
教授

中山 将伸

■目的

データサイエンスやAIを活用して材料開発を効率化し、新素材の探索を加速する手法を身に付ける。

■受講対象者

初級～中級レベルを想定しており、これから材料インフォマティクスや計算材料科学に取り組みたい方、基礎を整理しなおしたい方

※化学・材料に関する大卒レベルの知識は必要です。プログラミング経験がなくても参加可能ですが、「変数、for文、if文などの初歩知識」がある方が好ましいです。
※ハンズオン演習に参加される方は、WiFi環境に接続可能なパソコンを持参してください。またご自身がお使いの生成AI (chatGPT、Gemini、Claude… etc) も利用することをお勧めします。

■講座概要

機械学習の基本的な考え方(回帰・分類・特徴量設計)を、材料研究の具体例を通して解説し、材料データを用いたモデル構築および評価の基礎演習を行う。また、深層学習の基本構造と、材料分野における代表的な応用例を紹介する。

■修得スキル

- ① 機械学習／回帰分析／分類分析／ベイズ最適化に関する概念理解ができる
- ② 様々な機械学習アルゴリズムを活用して回帰分析等の作業ができる

■実施方法 対面(平日昼間 3時間×3回)

受講料:5万円/人

材料シミュレーション講座

■講師



名古屋工業大学
生命・応用化学類
環境セラミックスプログラム
教授

中山 将伸

■目的

材料の特性を予測し、設計を最適化する技術を身に付ける。
目指す材料を、短期間でつ少ない労力で開発するためのスキルを修得する。

■受講対象者

- ・主に無機固体系の材料の高品質化や生産性向上を目指す方
- ・新素材の効率的な探索や評価・解析を目指す方

※化学・材料に関する大卒レベルの知識は必要です。プログラミング経験がなくても参加可能ですが、「変数、for文、if文などの初歩知識」がある方が好ましいです。
※ハンズオン演習に参加される方は、WiFi環境に接続可能なパソコンを持参してください。またご自身がお使いの生成AI (chatGPT、Gemini、Claude… etc) も利用することをお勧めします。

■講座概要

機械学習ポテンシャル(MLIP/NNP)の基礎概念と近年の動向を解説し、無機結晶材料を対象とした構造最適化および物性評価手法の基礎を学ぶ。

■修得スキル

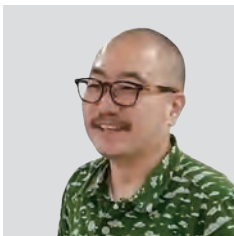
- ① 機械学習ポテンシャルの概念理解ができる
- ② 機械学習ポテンシャルによる材料シミュレーションの実施と解析評価ができる

■実施方法 対面(平日昼間 3時間×2回)

受講料:5万円/人

IoT演習講座

■講師



名古屋工業大学
情報工学類
知能情報プログラム 准教授

大塚 孝信

■目的

IoTによるデータ収集と機械学習を活用して課題解決のためのシステムづくりの基礎を習得し、現場でPoC(概念検証)を行うことができる人材を育成する。

■受講対象者

製造業務に携わる管理者と実務者。IoTおよびDXに着手したい方

※講座ではWi-Fi環境に接続可能なパソコンが必要です。ソフトウェアインストール制限のないパソコンを持参してください。(ArduinoIDEとPython環境が本講義では必須です)

■講座概要

IoTシステムの基礎とリミテーションについて説明するとともに、実際にデバイスを用いて実社会の問題解決のためのグループワークを行うことで実現場でのPoCまで行う。

■修得スキル

- ① 取得したいデータに対し最適なセンサを選択することができる
- ② 取得したセンサデータをWiFi等の無線により収集することができる
- ③ 収集したデータをPCを用いてある程度のデータ解析が行える

■実施方法 対面(平日昼間 3時間×6回)

受講料:5万円/人

工場長養成塾DX版講座

■講師



名古屋工業大学
客員教授

田中 宏和



ちかと経営研究所
所長

吉田 信人



有限会社
ユニバーサル・
シェル・プログラ
ミング研究所
代表取締役

當仲 寛哲



協和工業株式会社
代表取締役社長

鬼頭 佑治

■目的

DXの意義、人材育成方法、現場改善の重要性を理解し、現状から将来あるべき姿へと遷移させていくことができるリーダーを育成する。

■受講対象者

- ものづくりに携わる企業の経営者、管理者と実務者
- 企業で業務効率化や最適化等に関わる方
- IoTおよびDXを模索している方

■講座概要

DX推進の基盤づくりの考え方について、ケース研究を交えて理解を深め、DXの具体的な進め方を修得するとともに、実際にDXに取り組んでいる工場を見学し、最適化と戦略的原価システムづくりを目指す姿や、社員が自ら課題を発見して解決する文化に触れる。

■修得スキル

- ① 事業プロセス、組織、人材の企業システムの理解とアプローチの思考がわかる
- ② DXの疎結合型システム開発手法、パートナー要件、人材育成法が理解できる
- ③ DXの意義と会社全体で取り組む必要を理解できている

■実施方法 対面(平日昼間 3時間×3回と工場見学:現地2時間)

受講料:5万円/人

サイバーセキュリティ講座

■講師



名古屋工業大学 名誉教授

橋本 芳宏



合同会社Forehacks 代表

佐々木 泰斗

■目的

工場等の制御システムが攻撃されるサイバーセキュリティのリスクや脅威を理解し、自社のセキュリティ対策を主導できる人材を育成する。

■受講対象者

- 重要インフラ事業者の情報システム担当者・現場責任者
- OT/ITの両領域に関わるセキュリティ管理者
- 制御システムの設計・運用に携わる技術者
- ICS/OTセキュリティに関心を持つ情報システム部門の担当者

■講座概要

工場や設備を対象にしたサイバーセキュリティ対策について広範囲に学ぶ。最新のサイバー攻撃の事例や、ビジネスを取り巻く規制面から、安全を意識したサイバーセキュリティ対策の必要性を理解し、組織としての取り組みのあり方を考える。インシデント対応演習のあり方、企画の仕方を修得する。

■修得スキル

- ① OTセキュリティの必要性を説明できる
- ② サイバーセキュリティを推進する中核人材の必要性とその役割を説明できる
- ③ セキュリティを自分の課題と認識してもらうためのアプローチを紹介できる
- ④ 自社へのサイバー攻撃のシナリオを検討できる

■実施方法 ハイブリッド/オンデマンド併用
(ハイブリッド:平日昼間 90分2回)全10回

受講料:5万円/人

ロボット導入講座

■講師



ヒューマテックジャパン株式会社
代表取締役

永井 伸幸

■目的

産業用ロボットを活用したシステム導入のための知識を修得し、安全なロボットシステム導入の提案・設計および構築を行う人材を育成する。

■受講対象者

- 生産性向上につながる設備やシステムの提案・導入を担う企業の技術者・社員
- 自社の生産性向上を検討し経営層への提案や社内プロジェクトを推進する担当者
- 公設試験研究機関等で中小企業支援を行うコーディネータや、自動化ソリューションを提案する商社の技術職

■講座概要

労働人口が低下している中、世界での競争力を高めるためには産業用ロボットの活用も有用である。本講座では、産業用ロボットを活用したシステム導入のための知識を習得するとともに「システム構想」、「ロボットの安全」、「導入後の運用と改善」など生産性向上を継続できる知識・スキルを修得する。

■修得スキル

- ① 生産現場の工程分析・設計を行い、産業用ロボット導入の環境を構築できる
- ② ロボットに関する法令や規格を理解し、安全なシステムの構想を検討できる
- ③ ロボットと周辺機器の構成を理解し、対象製品に適したシステムを構築できる

■実施方法 対面/オンデマンド併用(対面:平日昼間 3時間2回
工場見学:現地2時間)全9回

受講料:5万円/人

キャップストーンプログラム

実践的な能力を身に付けて 自社のDXを推進できる人材を育成する

キャップストーンプログラムは、デジタル技術の基礎知識を身に付けた受講者が、大学の研究者による指導を受けながら、自社の課題解決を目指す実践的な教育プログラムです。

申込方法



AI・IoT学びあいプロジェクト

<https://forms.cloud.microsoft/r/uT7CYrvz8G>



AI・IoT学びあいプロジェクト

■目的

1. 企業の課題を研究室と共有し、学生と一緒に学びながら自社課題を解決する。
2. AIやIoTの技術を活用して、新しい技術を習得する。

■受講対象者

AI・IoTに関して困りごとを有する企業の経営者、管理者と実務者

■講座概要

学生と企業が協力し、教員の専門的な指導のもとで、企業が抱える課題の解決に取り組む実践的な教育プログラム。特に地域の中小企業が直面する経営や技術的な課題に焦点を当て、AIやIoTなどの先端技術を活用して解決を目指す。互いに学び合うことを目的としており、企業と学生が相互理解を深めながら共に成長できる場を創出する。地域のDX推進にも貢献する取り組み。



■実施方法

受講希望企業から技術相談をいただき、産学官金連携機構長との面談により研究室を選定して実施する。月に1～2回の対面またはオンライン会議で進捗の確認及び教員指導を行う。成果報告会を実施し、学修目標を達成した方にはデジタルバッジを発行する。

■参加企業のメリット

- 1 新しい視点・アイデアの獲得
 - ・学生ならではの柔軟で固定観念に縛られない発想が得られる
 - ・若い世代の価値観や消費行動への理解が深まる
- 2 採用活動・人材発掘の場になる
 - ・プロジェクトを通じて学生の実力・姿勢・適性を把握できる
 - ・ミスマッチの少ない採用につながる
 - ・企業理解が深まった学生はその企業への志望度が上がりやすい
- 3 社会貢献(CSR)およびブランド価値の向上
 - ・教育機関と協働することで社会貢献としての評価が高まる
 - ・学生や大学とのつながりが企業イメージ向上につながる
- 4 自社課題の棚卸しができる
 - ・課題を学生に説明する過程で、整理・言語化が進む
 - ・組織内で見過ごしていた課題に気づく
- 5 社員の育成につながる
 - ・メンター役の社員が「教えることで学ぶ」機会を得られる
 - ・若手社員のプロジェクトマネジメント・コミュニケーション力が向上する
 - ・社内に刺激が生まれ、エンゲージメントが高まる

受講料: 25万円～/社・年

AI・IoT道場

AI・IoTに関する本格的な研究に取り組みたい場合は「AI・IoT道場」というプログラムを活用することも可能です。

企業が抱える実際の課題を研究テーマとして取り上げ、教員の専門的な指導のもと、卒業研究レベルの高度な研究を実施します。企業と教育機関が連携し、現場で活躍できる即戦力の研究開発人材を育てる実践的なプログラムです。

※ご希望の方は「中部DX推進人材育成プラットフォーム事務局」までご連絡ください。

受講料: 100万円/人・年

access

所在地/〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

■JR東海

中央本線 鶴舞駅下車
(名大病院口から東へ約400m)

■地下鉄

鶴舞線 鶴舞駅下車
(4番出口から東へ約500m)
桜通線 吹上駅下車
(5番出口から西へ約900m)

■市バス

栄18 名大病院下車(東へ約200m)
昭和巡回 名大病院下車(東へ約200m)
※「栄18」「昭和巡回」は市バスの系統名です。



国立大学法人

名古屋工業大学

産学官金連携機構

chubu-dx@adm.nitech.ac.jp

中部DX推進人材育成プラットフォーム

web site

